

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司  
メールアドレス：info@ogiharakenji.com  
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

# おぎはら健司の市政レポート

## 選挙を振り返って。

9月25日に行われた選挙で、2,622票という本当に多くの皆様のご支持を頂き、二期目の任期をお預かりいたしました。前回は419票も上回り、責任の重さを感じながら新たな任期がスタートしました。

新役員を決める平成28年座間市議会臨時会は10月14日に開かれる予定で、正副議長の選挙をはじめ、所属する常任委員会や特別委員会などが決定します。

また、所属する会派は『自民党・いさま』と命名され、敢えて公認を受けずに戦った自民党籍を持つ先輩2名と私、公認を受けた新人3名を含めた5名、計8名でスタートする事になりました。前期同様、今期も8名での最大会派を組織する事ができ、更なる存在感を発揮して参りたいと思います。

今回の会派構成では、会派に属さない「無会派」の議員が1名から3名に増え、さらに前期では4名で同じ会派を組んでいた方々が2名ずつに分裂するなどの動きがありました。それぞれ複雑な事情があるようです。

今回の選挙結果について、投票率を分析すると、前回は0.4%上回る40.38%となりましたが、懸念していた通り、やはり低投票率という感は否めません。

選挙期間中、「投票に行かないという選択肢では選ばれる私たちは（私は違いつもりではあります）皆さんの『政治離れ』を実感できません。ぜひ投票に行って『白票』や『相応しい候補なし!』などの無効票を投じるなどの行動を起こしてください!」と訴えておりましたが、今回の無効票は515票で、前回の無効票は525票と大きな変化はありませんでした。

それぞれの白票は前回は311票、今回は

328票とこちらにも変化は見られませんでした。

また、参院選で話題になった18歳からの選挙権ですが、今回の18歳と19歳の投票率は18歳は33.33%（参院選は52.88%）、19歳は24.94%（同47.17%）と参院選の投票率を大幅に下回る結果となっておりますが、ある方によると「市議会議員選挙は最も身近な議員を選ぶ選挙だけど、テレビなどの報道によって、国政選挙の方が身近に感じられるのではないか」との事。私たち市議会議員が、もっと情報を発信し市政を身近に感じて頂く必要を痛感した次第です。

## 過分なる評価を頂き。

文書や書面による選挙の支援に対するお礼が禁じられている関係上、このレポートでも「ありがとうございます!」という表現が使えないのがもどかしい限りですが、本当に多くの皆様のご支援により前回は上回る得票率で当選をする事が出来ました。

私は、甘利代議士の秘書時代から選挙分析に於いて、得票数よりも得票率を重んじておりました。というのも、投票率（有効投票総数）によって票数は増減しますが、得票率はその時々投票率に左右される事なく、支持率を把握できるからです。

前回の選挙時は得票数2,203票、有効投票総数に対する得票率は5.37%でしたが、今回の選挙では2,622票、同じく得票率は6.14%と大きなご期待を頂きました!

改めて責任の重さを感じつつ、選挙中に訴えていた「広域連携」「国・県・市の連携」を実現すべく、気を引き締めなおして新たな任期に臨みます。